事務事業評価（確認書）

平成30年 5月28日
11時10分05秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0008010000	地域医療推進室
総合計画	吹田市第３次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

＜基本事項＞

事務事業番号	00337	原爆被爆者支援活動補助事業							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	04	地域での暮らしを支えるまちづくり							
細節	10	住み慣れた地域での生活を支える地域福祉の充実							
予算事業	10251	01	03	01	02	03	01	01	原爆被爆者支援活動補助事業（厚生援護費）
所属長	安宅　千枝								担当者（内線）田邊、丸谷、長榮（内線２５１４）
根拠法令等	吹田市地域福祉推進活動補助金等交付要領								
事業開始年度	平成１３年度	直近の改正	平成１６年度						
改正内容	補助対象経費								
市単独事業区分	●　全部　○　一部（上乗せ、横出し等あり）　○　なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

＜事業分析＞

事業区分	○　内部管理　○　建設事業　●　その他		
対象	吹田市原爆被害者の会		
目標	原子爆弾被爆者支援活動に要する経費に対して補助金を交付し、活動を支援する。		
結果	原子爆弾被爆者支援活動の推進が図られる。		
事業概要	原子爆弾被爆者に対する相談活動、被爆者の生活支援に係る広報活動、被爆者健康診断の援助活動など原子爆弾被爆者支援活動の推進に要する経費の支出額に対して、１６万円を限度として補助する。		
実施方法	□　直接実施		
	□　委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	
	■　補助金・負担金	交付先①	吹田市原爆被害者の会
		交付先②	
		交付先③	
	□　その他	内容	

＜事業費＞

（千円）

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	160	160	160	160	160
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	817	790	806	806	795
総事業費(A+B)	977	950	966	966	955
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	977	950	966	966	955
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	977	950	966	966	955
財源計(C+D)	977	950	966	966	955

所属	地域医療推進室
事務事業番号	00337

＜活動指標＞

（1）活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費（千円）	0.00	0.00	
			一般財源（千円）	0.00	0.00	
（1）活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費（千円）	0.00	0.00	
			一般財源（千円）	0.00	0.00	

＜成果指標＞

（2）成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費（千円）	0.00	0.00	
			一般財源（千円）	0.00	0.00	
（2）成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費（千円）	0.00	0.00	
			一般財源（千円）	0.00	0.00	

（3）指標で示すのが困難な場合

活動内容	原爆被害者の会の活動に対し補助する。	目標	原子爆弾被爆者支援活動を支援し、福祉の増進を図る。
成果内容	原爆被害者の会の活動として、原子爆弾被爆者に対する相談活動、生活支援に係る広報活動、健康診断の援助活動が実施された。	達成状況	原子爆弾被爆者の高齢化により健康不安等の諸問題が増加する中、相談活動等の支援は被爆者にとって重要である。

＜総合評価＞

今後の方向性（一次評価）	□ 拡充 ■ 継続 □ 縮小 □ 廃止 □ 終期の設定
評価の説明	【事業費等の評価】 事業費は適当であると考える（理由：補助対象活動の内容に見合った補助限度額の設定となっていると考える。） 【今後の方向性】 被爆から７０年以上が経過し、原子爆弾被爆者の高齢化に伴う健康不安などの諸問題が発生しており、今後も被爆者の健康の保持と福祉の増進を図っていくことが求められる。今後も被爆者の相互支援を目的とした吹田市原爆被害者の会の活動に補助することで、身近な相談・支援体制を確保していくことが必要である。

事務事業分析シート

所属名	地域医療推進室				
事務事業番号	00337	事業名	原爆被爆者支援活動補助事業	事業区分	その他

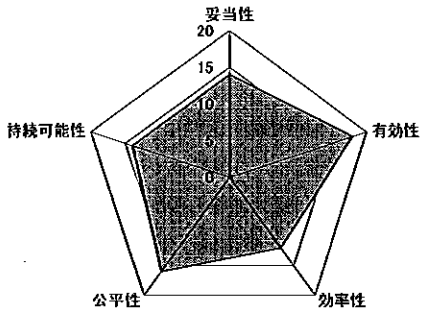
1 各視点からの評価　※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点		評価点	チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
(1)	妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
			b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
			③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2)	有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
			③事業は目標どおりに進捗していますか。		
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3)	効率性 (20点)	12	①単位当たりコストは適正ですか。		
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
			b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4)	公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
			②サービスの水準は適正ですか。		
			b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
			③適正な受益者負担を求めていますか。		
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5)	持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
			③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)		74	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域医療推進室	事務事業番号	00337

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	□ 主要な政策課題としての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	交付団体である吹田市原爆被害者の会は、毎週、市役所で原爆被爆者に対する相談活動を実施し、被爆被害に関する相談のほか、相互に情報交換を行う場としての役割も担っている。 また、被爆者の生活支援に係る広報活動として、会報「すいせん」を年2回発行し、春と秋には、市内医療機関にて被爆者健康診断受診時の援助活動も行っている。 以上の被爆者支援に関する活動のほかにも、被爆の凄惨な体験を現代に伝え、核兵器の根絶と世界平和実現に向けた役割も果たしてるが、被爆から70年以上経過し、被爆者自身の高齢化が進み、健康に対する不安も年々増大してきているため、個別の相談や支援体制が今後も必要となる。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

事務事業評価（確認書）

平成30年 5月28日
11時30分39秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0008010000	地域医療推進室
総合計画	吹田市第３次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

＜基本事項＞

事務事業番号	00339	原爆被爆者二世支援事業							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	04	地域での暮らしを支えるまちづくり							
細節	10	住み慣れた地域での生活を支える地域福祉の充実							
予算事業	10253	01	03	01	02	05	01	01	原爆被爆者二世支援事業（厚生援護費）
所属長	安宅　千枝								担当者（内線）田邊、丸谷、長榮（内線２５１４）
根拠法令等	吹田市被爆者二世医療費助成金支給要綱								
事業開始年度	平成１３年度	直近の改正	平成２４年度						
改正内容	医療費助成受給のための所得要件の変更								
市単独事業区分	●　全部　○　一部（上乗せ、横出し等あり）　○　なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

＜事業分析＞

事業区分	○　内部管理　○　建設事業　●　その他		
対象	市内に居住する原子爆弾被爆者の二世		
目標	健康診断の受診機会の確保及び原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律施行規則第５１条に定める障害を伴う疾病と同様の疾病に対する医療費（自己負担額）を助成する。		
結果	原子爆弾被爆者二世の健康の保持及び福祉の増進が図られる。		
事業概要	市内に居住する原子爆弾被爆者二世に対し、国が実施する健康診断の定員枠外となり受診できない者への健康診断を補完する。その他、原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律施行規則第５１条に定める障害を伴う疾病と同様の疾病についての医療費の自己負担額を助成する。（市民税非課税世帯に属するものが対象）		
実施方法	■　直接実施		
	□　委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	
	□　補助金・負担金	交付先①	
		交付先②	
		交付先③	
	□　その他	内容	

＜事業費＞

（千円）

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	1,579	1,471	1,579	835	1,579
人件費職員数(人)	0.20	0.30	0.20	0.21	0.20
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	1,634	2,370	1,611	1,691	1,589
総事業費(A+B)	3,213	3,841	3,190	2,526	3,168
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	3,213	3,841	3,190	2,526	3,168
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	3,213	3,841	3,190	2,526	3,168
財源計(C+D)	3,213	3,841	3,190	2,526	3,168

所属	地域医療推進室
事務事業番号	00339

<活動指標>

（1）活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	医療費助成の申請者数（重複なし）	人	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	15.00	11.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	医療機関で受診した対象者からの申請を受けて交付するものであるため、目標値の設定は不可能である。	単位当たりコスト	総事業費（千円）	256.07	229.64	
			一般財源（千円）	256.07	229.64	

（1）活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費（千円）	0.00	0.00	
			一般財源（千円）	0.00	0.00	

<成果指標>

（2）成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費（千円）	0.00	0.00	
			一般財源（千円）	0.00	0.00	

（2）成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費（千円）	0.00	0.00	
			一般財源（千円）	0.00	0.00	

（3）指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容	医療費が助成されることにより原子爆弾被爆者二世は安心して医療を受けることができ、健康回復・保持につながる。	達成状況	助成対象者からの申請は変わらずにあり、原子爆弾被爆者二世の健康に関する不安を軽減する効果は大きいといえる。

<総合評価>

今後の方向性（一次評価）	□ 拡充 ■ 継続 □ 縮小 □ 廃止 □ 終期の設定
評価の説明	【事業費等の評価】 事業費は増額を検討する必要があると考える。（理由：年度毎に増減はあるものの、今後長期的にみると、対象者の高齢化や医療費が高額になる対象者の増加などから増加傾向になることが予想されるため。） 【今後の方向性】 平成２３年度に行政の維新プロジェクトとして取り組んでいる事業見直しの実施方針に基づき、見直し対象事業として検討した結果、事業内容を見直したうえで継続することとなった。 原子爆弾被爆者二世に対しての国の支援は、吹田保健所で実施している年１回の健康診断のみだが、被爆から７０年以上の歳月が経過し、原子爆弾被爆者二世についても高齢化が進んでおり、健康に対する不安を軽減し、健康の保持及び福祉の増進を図ることは重要だと考えられるため、引き続き実施していくことが必要である。

事務事業分析シート

所属名	地域医療推進室				
事務事業番号	00339	事業名	原爆被爆者二世支援事業	事業区分	その他

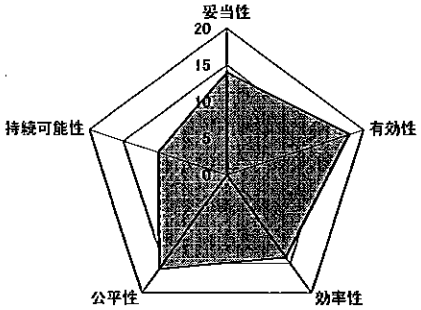
1　各視点からの評価　　※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点		評価点	チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
(1)	妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
			b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
			③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2)	有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
			③事業は目標どおりに進捗していますか。		
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3)	効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。		
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
			a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4)	公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
			②サービスの水準は適正ですか。		
			b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
			③適正な受益者負担を求めていますか。		
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5)	持続可能性 (20点)	10	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
			c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
			③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)		72	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域医療推進室	事務事業番号	00339

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	□ 主要な政策課題としての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	平成29年度において被爆者二世の登録者数は264人、医療費助成延利用件数は101件となっている。 制度発足以降、被爆者二世の登録者数、医療費助成件数、医療費助成額は増加していたが、平成23年度に行った事業の見直しの中で、対象者の所得要件の変更を行った結果、制度の適正化が図られ、医療費助成件数、医療費助成額は減少した。 しかし、今後は長期的に見ると、対象者の高齢化や医療費が高額になる対象者の増加などから件数、助成額とも増加傾向になることが予想される。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

事務事業評価（確認書）

平成30年 5月23日
13時07分33秒 作成

評価年度	平成29年度	所属	0008010000	地域医療推進室
総合計画	吹田市第３次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

＜基本事項＞

事務事業番号	00342	公害認定審査事業						
章	05	環境を守り育てるまちづくり						
節	01	環境負荷の少ない住みよいまちづくり						
細節	15	環境汚染防止対策の推進／公害健康被害者の救済						
予算事業	10506	01	04	01	10	03	01	01	公害認定審査事業（公害健康被害補償費）
所属長	安宅　千枝							担当者（内線）	田邊（内線２５１４）
根拠法令等	公害健康被害の補償等に関する法律								
事業開始年度	昭和４９年度	直近の改正	平成２５年度						
改正内容	委員定数を「１５人以内」から「１３人以内」に変更								
市単独事業区分	○　全部　○　一部（上乗せ、横出し等あり）　●　なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

＜事業分析＞

事業区分	●　内部管理　○　建設事業　○　その他		
対象	法により認定された公害健康被害被認定者等		
目標	認定更新申請や各種補償給付の請求に係る審査を行う。		
結果	公害健康被害被認定者等の迅速かつ公正な保護及び健康の確保を図る。		
事業概要	市長からの諮問に応じて公害健康被害認定審査会を開催し、公害健康被害被認定者等の認定更新申請や各種補償給付の請求に係る審査を行うものである。		
実施方法	■　直接実施		
	■　委託又は一部委託	委託先①	地方独立行政法人市立吹田市民病院
		委託先②	医療法人共愛会
		委託先③	
		主な委託内容	公害健康被害被認定者医学的検査
	□　補助金・負担金	交付先①	
		交付先②	
		交付先③	
	□　その他	内容	

＜事業費＞

（千円）

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	9,071	8,410	6,659	6,251	6,319
人件費職員数(人)	1.00	1.01	0.95	0.95	0.96
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	8,170	7,979	7,650	7,650	7,628
総事業費(A+B)	17,241	16,389	14,309	13,901	13,947
特定財源(C)	9,071	7,233	6,659	5,784	6,319
国	8,350	6,812	6,659	5,784	6,319
府	0	0	0	0	0
その他	721	421	0	0	0
市負担(D)	8,170	9,156	7,650	8,117	7,628
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	8,170	9,156	7,650	8,117	7,628
財源計(C+D)	17,241	16,389	14,309	13,901	13,947

所属	地域医療推進室
事務事業番号	00342

＜活動指標＞

（1）活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	開催回数	件	目標値	11.00	11.00	11.00
			実績値	11.00	11.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	毎月（８月を除く）、１回開催	単位当たりコスト	総事業費（千円）	1,489.91	1,263.73	
			一般財源（千円）	832.36	737.91	

（1）活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費（千円）	0.00	0.00	
			一般財源（千円）	0.00	0.00	

＜成果指標＞

（2）成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費（千円）	0.00	0.00	
			一般財源（千円）	0.00	0.00	

（2）成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費（千円）	0.00	0.00	
			一般財源（千円）	0.00	0.00	

（3）指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容	公害健康被害被認定者の迅速かつ公正な保護及び健康の確保につながっている。	達成状況	実績の把握が困難なため、達成状況は把握できないが、被認定者の迅速かつ公正な保護などに一定程度寄与していると考える。

＜総合評価＞

今後の方向性（一次評価）	□ 拡充 ■ 継続 □ 縮小 □ 廃止 □ 終期の設定
評価の説明	【事業費等の評価】 事業費は適切である。（理由：事業費は減少しているものの、平成２８年度は、大気汚染公害認定研究会の開催当番市としての開催費用が含まれており、平成２９年度に減額したことは妥当と考えられるため） 【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果が出ており事業費も適正であるため、継続すべきである。なお、本事業は、法により市が事務を処理することが義務付けられている事業である。

事務事業分析シート

所属名	地域医療推進室				
事務事業番号	00342	事業名	公害認定審査事業	事業区分	内部管理

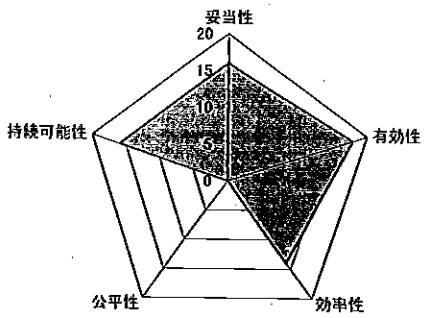
1 各視点からの評価　※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点		評価点	チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
(1)	妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
			a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
			③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2)	有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
			③事業は目標どおりに進捗していますか。		
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3)	効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。		
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
			a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4)	公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
			内部管理		点
			②サービスの水準は適正ですか。		
			内部管理		点
			③適正な受益者負担を求めていますか。		
			内部管理		点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			内部管理		点
(5)	持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
			③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)		80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域医療推進室	事務事業番号	00342

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	□ 主要な政策課題としての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	本事業については、市長からの諮問に応じて公害健康被害認定審査会を開催し、大気汚染の影響による健康被害に係る損害を填補するために法により認定された公害健康被害被認定者等に対して、認定更新申請や各種補償給付の請求に係る審査するもので、法律によって市が事務を処理することが義務付けられている。 現状では、年に11回開催しており、今後も、同様に、継続して実施していくべき事業であると考える。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

事務事業評価（確認書）

平成30年 5月23日
13時08分48秒 作成

評価年度	平成29年度	所属	0008010000	地域医療推進室
総合計画	吹田市第３次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

＜基本事項＞

事務事業番号	00343	公害診療報酬審査事業						
章	05	環境を守り育てるまちづくり						
節	01	環境負荷の少ない住みよいまちづくり						
細節	15	環境汚染防止対策の推進／公害健康被害者の救済						
予算事業	10507	01	04	01	10	03	02	01	公害診療報酬審査事業（公害健康被害補償費）
所属長	安宅　千枝							担当者（内線）	田邊（内線２５１４）
根拠法令等	公害健康被害の補償等に関する法律								
事業開始年度	昭和４９年度	直近の改正	平成２４年度						
改正内容	行政経営部企画政策室から示された「附属機関等の見直しに関する基本的な考え方」に基づき、公害診療報酬審査委員会の位置付けを意見聴取を目的とする懇談会等に改めた。								
市単独事業区分	○　全部　○　一部（上乗せ、横出し等あり）　●　なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

＜事業分析＞

事業区分	●　内部管理　○　建設事業　○　その他		
対象	公害健康被害被認定者に対して療養の給付を担当した公害医療機関等		
目標	公害診療報酬等の請求に係る審査を行い、適正と認められた診療内容等に対して報酬を支払う。		
結果	公害健康被害被認定者の迅速かつ公正な保護及び健康の増進を図る。		
事業概要	市長からの諮問に応じて、月に一度公害診療報酬審査委員会を開催し、法により認定された公害健康被害被認定者に対して療養の給付を担当した公害医療機関等からの公害診療報酬等の請求に係る診療内容等を審査するものである。		
実施方法	■　直接実施		
	■　委託又は一部委託	委託先①	（株）ニチイ学館
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	公害診療報酬レセプト点検等
	□　補助金・負担金	交付先①	
		交付先②	
		交付先③	
	□　その他	内容	

＜事業費＞

（千円）

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	1,434	1,069	1,363	1,247	1,658
人件費職員数(人)	0.45	0.45	0.50	0.50	0.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	3,677	3,555	4,026	4,026	3,973
総事業費(A+B)	5,111	4,624	5,389	5,273	5,631
特定財源(C)	1,434	864	1,363	1,154	1,658
国	1,434	864	1,363	1,154	1,658
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	3,677	3,760	4,026	4,119	3,973
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	3,677	3,760	4,026	4,119	3,973
財源計(C+D)	5,111	4,624	5,389	5,273	5,631

所属	地域医療推進室
事務事業番号	00343

<活動指標>

（1）活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	開催回数	件	目標値	12.00	12.00	12.00
			実績値	12.00	12.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	毎月１回開催	単位当たりコスト	総事業費（千円）	385.33	439.42	
			一般財源（千円）	313.33	343.25	

（1）活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費（千円）	0.00	0.00	
			一般財源（千円）	0.00	0.00	

<成果指標>

（2）成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費（千円）	0.00	0.00	
			一般財源（千円）	0.00	0.00	

（2）成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費（千円）	0.00	0.00	
			一般財源（千円）	0.00	0.00	

（3）指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容	公害健康被害被認定者の迅速かつ公正な保護及び健康の確保につながっている。	達成状況	実績の把握が困難なため、達成状況は把握できないが、被認定者の迅速かつ公正な保護等に一定程度寄与していると考える。

<総合評価>

今後の方向性（一次評価）	□ 拡充 ■ 継続 □ 縮小 □ 廃止 □ 終期の設定
評価の説明	【事業費等の評価】 事業費は適切である。（理由：事業費は増加しているものの、主な要因は、委託料の増額であり、その増額は妥当なものと考えられるため） 【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果が出ており事業費も適正であるため、継続すべきである。なお、本事業は、法により市が事務を処理することが義務付けられている事業である。

事務事業分析シート

所属名	地域医療推進室				
事務事業番号	00343	事業名	公害診療報酬審査事業	事業区分	内部管理

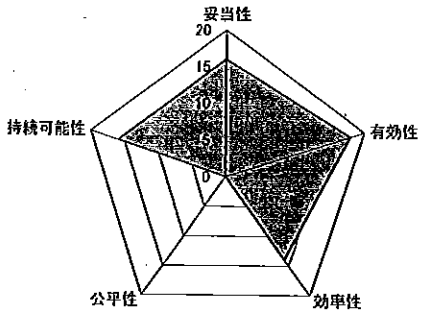
1 各視点からの評価　※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点		評価点	チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
(1)	妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
			a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
			③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2)	有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
			③事業は目標どおりに進捗していますか。		
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3)	効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。		
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
			a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4)	公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
			内部管理		点
			②サービスの水準は適正ですか。		
			内部管理		点
			③適正な受益者負担を求めていますか。		
			内部管理		点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			内部管理		点
(5)	持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
			③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)		80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域医療推進室	事務事業番号	00343

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	□ 主要な政策課題としての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	本事業については、市長からの諮問に応じて公害診療報酬審査委員会を開催し、法により認定された公害健康被害被認定者に対して療養の給付を担当した公害医療機関等からの公害診療報酬等の請求に係る診療内容等を審査するもので、法律によって市が事務を処理することが義務付けられている。 現状では、年に12回開催しており、今後も、同様に、継続して実施していくべき事業であると考える。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

事務事業評価（確認書）

平成30年 5月23日
13時09分39秒 作成

評価年度	平成29年度	所属	0008010000	地域医療推進室
総合計画	吹田市第３次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

＜基本事項＞

事務事業番号	00344	補償給付事業							
章	05	環境を守り育てるまちづくり							
節	01	環境負荷の少ない住みよいまちづくり							
細節	15	環境汚染防止対策の推進／公害健康被害者の救済							
予算事業	10508	01	04	01	10	03	03	01	補償給付事業（公害健康被害補償費）
所属長	安宅　千枝								担当者（内線）田邊（内線２５１４）
根拠法令等	公害健康被害の補償等に関する法律								
事業開始年度	昭和４９年度	直近の改正	平成２９年度						
改正内容	補償給付額の改正								
市単独事業区分	○　全部　○　一部（上乗せ、横出し等あり）　●　なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

＜事業分析＞

事業区分	○　内部管理　○　建設事業　●　その他		
対象	法により認定された公害健康被害被認定者等		
目標	大気汚染の影響による健康被害に係る損害を填補するための補償を行う。		
結果	法により認定された公害健康被害被認定者等の迅速かつ公正な保護及び健康の確保を図る。		
事業概要	法により認定された公害健康被害被認定者に対して、大気汚染の影響による健康被害に係る損害を填補するための補償として、障害補償費、療養手当の支給、療養の給付等を行う。 また、法により認定された公害健康被害被認定者が指定疾病に起因して死亡した場合、その一定範囲の遺族に対して、遺族補償費、遺族補償一時金、葬祭料の支給を行うものである。		
実施方法	■　直接実施		
	□　委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	
	□　補助金・負担金	交付先①	
		交付先②	
		交付先③	
	□　その他	内容	

＜事業費＞

（千円）

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	326,683	263,037	322,383	261,195	315,048
人件費職員数(人)	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	4,085	3,950	4,026	4,026	3,973
総事業費(A+B)	330,768	266,987	326,409	265,221	319,021
特定財源(C)	326,683	263,037	322,383	261,195	315,048
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	326,683	263,037	322,383	261,195	315,048
市負担(D)	4,085	3,950	4,026	4,026	3,973
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	4,085	3,950	4,026	4,026	3,973
財源計(C+D)	330,768	266,987	326,409	265,221	319,021

所属	地域医療推進室
事務事業番号	00344

<活動指標>

（1）活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	補償給付支給件数	件	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	5,732.00	5,574.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	法定受託事務のため、目標の設定になじまないと考える。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	46.58	47.58	
			一般財源(千円)	0.69	0.72	

（1）活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

（2）成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

（2）成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

（3）指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容	公害健康被害被認定者の救済につながっている。	達成状況	実績の把握が困難なため、達成状況は把握できないが、被認定者の病状・保持及び増進に一定程度寄与していると考える。

<総合評価>

今後の方向性（一次評価）	□ 拡充 ■ 継続 □ 縮小 □ 廃止 □ 終期の設定
評価の説明	【事業費等の評価】 事業費は適切である。（理由：事業費は、法により認定された公害健康被害被認定者等に対する補償給付費であり妥当と考えられるため） 【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果が出ており事業費も適正であるため、継続すべきである。なお、本事業は、法により市が事務を処理することが義務付けられている事業である。

事務事業分析シート

所属名	地域医療推進室				
事務事業番号	00344	事業名	補償給付事業	事業区分	その他

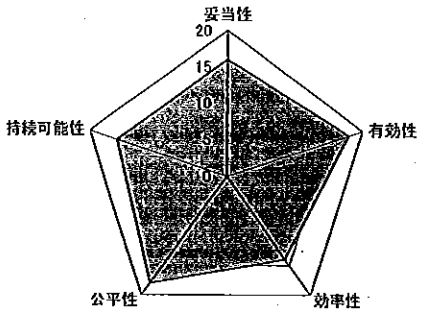
1 各視点からの評価　※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点		評価点	チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
(1)	妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
			a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
			③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2)	有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
			③事業は目標どおりに進捗していますか。		
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3)	効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。		
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
			a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4)	公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
			②サービスの水準は適正ですか。		
			a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
			③適正な受益者負担を求めていますか。		
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5)	持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
			③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)		82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域医療推進室	事務事業番号	00344

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	□ 主要な政策課題としての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	本事業については、法により認定された公害健康被害被認定者に対して、大気汚染の影響による健康被害に係る損害を填補するための補償として、障害補償費の支給等を行うもので、法律によって市が事務を処理することが義務付けられている。 現状では、公害健康被害被認定者の高齢化が進んでおり、今後も、そのような被認定者等に対して、分かりやすく補償給付に係る手続き等の案内を行い、これまでと同様に継続して実施していくべき事業であると考える。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

事務事業評価（確認書）

平成30年 6月 4日
10時06分57秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0008010000	地域医療推進室
総合計画	吹田市第３次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

＜基本事項＞

事務事業番号	00346	家庭療養指導事業						
章	05	環境を守り育てるまちづくり						
節	01	環境負荷の少ない住みよいまちづくり						
細節	15	環境汚染防止対策の推進／公害健康被害者の救済						
予算事業	10513	01	04	01	11	02	01	01	家庭療養指導事業（公害保健福祉事業費）
所属長	安宅　千枝							担当者（内線）	田邊（内線２５１４）
根拠法令等	公害健康被害の補償等に関する法律								
事業開始年度	昭和５０年度	直近の改正	平成２４年度						
改正内容	訪問対象者地域を市内旧第一種地域（旧公害指定地域）から市内全域に変更								
市単独事業区分	○　全部　●　一部（上乗せ、横出し等あり）　○　なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり） 法定受託事務であるが、事業実施について自治体に選択権がある。								

＜事業分析＞

事業区分	○　内部管理　○　建設事業　●　その他		
対象	法により認定された公害健康被害被認定者（市内在住者）		
目標	保健師等が家庭訪問を行い、法により認定された公害健康被害被認定者が各々の病状について理解を深め、適切な治療や環境整備等を行えるよう助言する。		
結果	法により認定された公害健康被害被認定者の病状回復の促進を図る。		
事業概要	法により認定された公害健康被害被認定者に対し、保健師等が家庭訪問を行い、日常生活指導や保健指導等を実施するものである。		
実施方法	■　直接実施		
	□　委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	
	□　補助金・負担金	交付先①	
		交付先②	
		交付先③	
	□　その他	内容	

＜事業費＞

（千円）

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	1,272	933	1,271	942	1,257
人件費職員数(人)	0.01	0.02	0.01	0.02	0.01
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	82	158	81	162	80
総事業費(A+B)	1,354	1,091	1,352	1,104	1,337
特定財源(C)	677	638	714	661	709
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	677	638	714	661	709
市負担(D)	677	453	638	443	628
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	677	453	638	443	628
財源計(C+D)	1,354	1,091	1,352	1,104	1,337

所属	地域医療推進室
事務事業番号	00346

<活動指標>

（1）活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	訪問指導件数	件	目標値	195.00	190.00	172.00
			実績値	174.00	176.00	
			達成度(%)	89.20	92.60	
目標値の積算方法	年度当初の市内在住被認定者数×在宅率８０%×２回（※平成３０年度から在宅率と訪問回数は前年度実績を使用）	単位当たりコスト	総事業費（千円）	6.27	6.27	
			一般財源（千円）	2.60	2.52	

（1）活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費（千円）	0.00	0.00	
			一般財源（千円）	0.00	0.00	

<成果指標>

（2）成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費（千円）	0.00	0.00	
			一般財源（千円）	0.00	0.00	

（2）成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費（千円）	0.00	0.00	
			一般財源（千円）	0.00	0.00	

（3）指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容	公害健康被害被認定者の高齢化が進んでおり、個々の病状においては、認定疾病だけでなく他疾病の併発等も認められ、保健師等が指導を行うだけでなく被認定者からの積極的な相談も見られる。	達成状況	適切な保健指導等を行うことにより、被認定者の病状回復・保持に一定程度寄与していると考える。

<総合評価>

今後の方向性（一次評価）	□ 拡充 ■ 継続 □ 縮小 □ 廃止 □ 終期の設定
評価の説明	【事業費等の評価】 事業費は適切である。（理由：事業費は、概ね一定額で推移しており妥当と考えられるため） 【指標数値の評価】 事業成果はおおむね妥当だが改善の余地がある。今後、事業成果の目標を達成するためには、被認定者とより一層密に連絡を取り訪問指導件数を伸ばす必要がある。一方、訪問指導件数の目標値の積算において、在宅率を８０%としているが、被認定者の生活状況等の実態を踏まえた値とする必要がある。 【今後の方向性】 事業費等や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果が出ていないが事業費は妥当であるため、事務改善を行いつつ継続することが妥当である。なお、本事業は、公害健康被害被認定者各々の病状等に応じて保健指導等を行い、健康の保持等を図っており、公害保健福祉事業において最も重要な事業である。

事務事業分析シート

所属名	地域医療推進室				
事務事業番号	00346	事業名	家庭療養指導事業	事業区分	その他

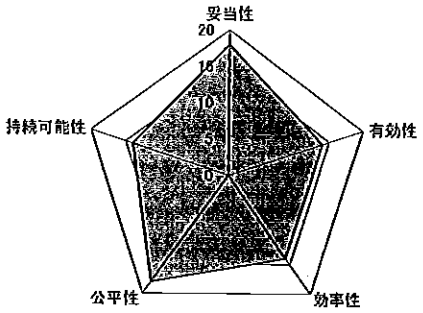
1 各視点からの評価　※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点		評価点	チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
(1)	妥当性(20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
			a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
			③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2)	有効性(20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
			③事業は目標どおりに進捗していますか。		
			b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3)	効率性(20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。		
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
			a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4)	公平性(20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
			②サービスの水準は適正ですか。		
			a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
			③適正な受益者負担を求めていますか。		
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5)	持続可能性(20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
			③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計(100点満点)		78	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域医療推進室	事務事業番号	00346

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	□ 主要な政策課題としての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	本事業については、法により認定された公害健康被害被認定者に対し、保健師等が家庭訪問を行い、日常生活指導や保健指導等を実施するものである。 現状では、公害健康被害被認定者の高齢化が進み、自身の病状等への理解が不足していたり、認定疾病以外の疾患を併発していたりと保健指導等を要する状況であり、今後も、これまでと同様に継続して実施していくべき重要な事業であると考える。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

事務事業評価（確認書）

平成30年 5月23日
13時11分04秒 作成

評価年度	平成29年度	所属	0008010000	地域医療推進室
総合計画	吹田市第３次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

＜基本事項＞

事務事業番号	00347	インフルエンザ予防接種費用助成事業							
章	05	環境を守り育てるまちづくり							
節	01	環境負荷の少ない住みよいまちづくり							
細節	15	環境汚染防止対策の推進／公害健康被害者の救済							
予算事業	10517	01	04	01	11	03	01	01	インフルエンザ予防接種費用助成事業（公害保健福祉事業費）
所属長	安宅　千枝							担当者（内線）	田邊（内線２５１４）
根拠法令等	公害健康被害の補償等に関する法律								
事業開始年度	平成１９年度	直近の改正	平成２３年度						
改正内容	季節性、新型を問わず、又、予防接種法（昭和２３年法律６８号）に基づく定期予防接種であるか否かを問わず、全てのワクチンで６５歳以上という年齢制限を撤廃し、公害健康被害被認定者全員が対象となる。								
市単独事業区分	○　全部　●　一部（上乗せ、横出し等あり）　○　なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり） 法定受託事務であるが、事業実施については自治体に選択権がある。								

＜事業分析＞

事業区分	○　内部管理　○　建設事業　●　その他		
対象	法により認定された公害健康被害被認定者のうち、一定要件を満たした者		
目標	インフルエンザに係る予防接種において自己負担する費用を助成することで、法により認定された公害健康被害被認定者の予防接種を促す。		
結果	法により認定された公害健康被害被認定者の健康の保持を図る。		
事業概要	季節性、新型を問わず、又、予防接種法（昭和２３年法律第６８号）に基づく定期予防接種であるか否かを問わず、インフルエンザに係る予防接種を指定期間内に受けた公害健康被害被認定者に対して、予防接種に係る費用の自己負担分を助成するものである。		
実施方法	■　直接実施		
	□　委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	
	□　補助金・負担金	交付先①	
		交付先②	
		交付先③	
	□　その他	内容	

＜事業費＞

（千円）

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	297	221	288	248	261
人件費職員数(人)	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	82	79	81	81	80
総事業費(A+B)	379	300	369	329	341
特定財源(C)	222	166	215	186	195
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	222	166	215	186	195
市負担(D)	157	134	154	143	146
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	157	134	154	143	146
財源計(C+D)	379	300	369	329	341

所属	地域医療推進室
事務事業番号	00347

＜活動指標＞

（1）活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	予防接種を受けた対象者数	人	目標値	184.00	180.00	174.00
			実績値	82.00	93.00	
			達成度(%)	44.60	51.70	
目標値の積算方法	対象者数 （本事業の対象とならない生活保護世帯者数及び市民税非課税世帯者数を含む。）	単位当たりコスト	総事業費（千円）	3.66	3.54	
			一般財源（千円）	1.63	1.54	

（1）活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費（千円）	0.00	0.00	
			一般財源（千円）	0.00	0.00	

＜成果指標＞

（2）成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費（千円）	0.00	0.00	
			一般財源（千円）	0.00	0.00	

（2）成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費（千円）	0.00	0.00	
			一般財源（千円）	0.00	0.00	

（3）指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容	インフルエンザへの罹患を防ぐことで、呼吸器疾患が増悪する要因を減らし、健康の保持につながっている。	達成状況	未接種者は少なくなく、改善の余地があるが、予防接種を受けた者については、一定程度、健康の保持に寄与していると考える。

＜総合評価＞

今後の方向性（一次評価）	□ 拡充 ■ 継続 □ 縮小 □ 廃止 □ 終期の設定
評価の説明	【事業費等の評価】 事業費は増額を検討する必要がある。（理由：接種率は増加しており、事業成果の目標を達成するため） 【指標数値の評価】 指標数値の推移を踏まえると、事業成果はおおむね妥当だが改善の余地がある。今後、事業成果の目標を達成するためには、具体的には、予防接種の重要性を家庭療養指導等で強く訴え、接種率向上に努める必要がある。 【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果が出ていないため、事業費の増額を検討するとともに、実施方法の検討などの事務改善を行いつつ継続することが妥当である。なお、本事業は、公害健康被害被認定者の健康の保持を目的とし、実施意義は大きく、公害保健福祉事業において重要な事業である。

事務事業分析シート

所属名	地域医療推進室				
事務事業番号	00347	事業名	インフルエンザ予防接種費用助成事業	事業区分	その他

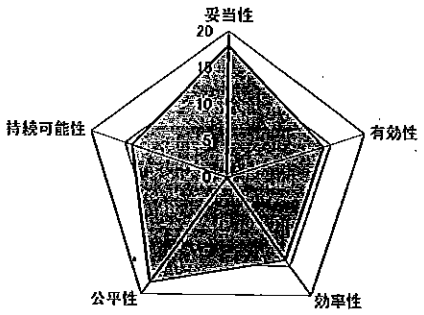
1 各視点からの評価　※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点		評価点	チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
(1)	妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
			a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
			③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2)	有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
			③事業は目標どおりに進捗していますか。		
			b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3)	効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。		
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
			a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4)	公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
			②サービスの水準は適正ですか。		
			a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
			③適正な受益者負担を求めていますか。		
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5)	持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
			③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)		78	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域医療推進室	事務事業番号	00347

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	□ 主要な政策課題としての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	本事業については、インフルエンザに係る予防接種を指定期間内に受けた公害健康被害被認定者に対し、予防接種に係る費用の自己負担分を助成するものである。 現状では、インフルエンザに係る予防接種を受けていない被認定者も多くいるが、公害健康被害被認定者をはじめとする呼吸器疾患を抱える者は、インフルエンザに罹患すると病状の重篤化を招きやすいとされており、今後も、予防接種の重要性を家庭療養指導等で強く訴え、接種率向上に努めつつ、継続して実施していくべき重要な事業であると考える。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

事務事業評価（確認書）

平成30年 5月28日
12時50分52秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0008010000	地域医療推進室
総合計画	吹田市第３次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

＜基本事項＞

事務事業番号	00570	おおさか・すいたハウス支援事業							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	06	健康な暮らしを支えるまちづくり							
細節	30	地域医療体制の整備							
予算事業	10240	01	03	01	01	06	01	01	おおさか・すいたハウス支援事業（社会福祉総務費）
所属長	安宅　千枝								担当者（内線）村澤　亮平（２４９９）
根拠法令等	吹田市おおさか・すいたハウス運営事業補助金交付要領								
事業開始年度	平成１８年度	直近の改正	平成２８年度						
改正内容	平成２８年４月１日の機構改革に伴う、所管課の名称等の変更								
市単独事業区分	●　全部　○　一部（上乗せ、横出し等あり）　○　なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

＜事業分析＞

事業区分	○　内部管理　○　建設事業　●　その他		
対象	公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン		
目標	難病児とその家族等を支援する極めて社会貢献度の高い施設である「おおさか・すいたハウス」の運営に対し支援することで、本市の地域医療の充実を図る。		
結果	福祉行政の増進と医療環境の充実		
事業概要	遠隔地から国立循環器病研究センターに通院・入院している小児患者とその付き添い家族が滞在する施設である「おおさか・すいたハウス」の運営に対して支援する。		
実施方法	□　直接実施		
	□　委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	
	■　補助金・負担金	交付先①	公益財団法人ドナルド・マクドナルドハウス
		交付先②	
		交付先③	
	□　その他	内容	

＜事業費＞

（千円）

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	2,654	2,646	2,646	2,646	2,646
人件費職員数(人)	0.20	0.20	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	1,634	1,580	806	806	795
総事業費(A+B)	4,288	4,226	3,452	3,452	3,441
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	4,288	4,226	3,452	3,452	3,441
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	4,288	4,226	3,452	3,452	3,441
財源計(C+D)	4,288	4,226	3,452	3,452	3,441

所属	地域医療推進室
事務事業番号	00570

＜活動指標＞

（1）活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	部屋稼働率	%	目標値	100.00	100.00	100.00
			実績値	80.45	80.33	
			達成度(%)	80.50	80.30	
目標値の積算方法	最大値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	52.53	42.97	
			一般財源(千円)	52.53	42.97	

（1）活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

＜成果指標＞

（2）成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

（2）成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

（3）指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容	「おおさか・すいたハウス」の運営に対する支援により、吹田市の地域医療の充実を図る。	達成状況	地域医療の充実

＜総合評価＞

今後の方向性（一次評価）	□ 拡充　□ 継続　□ 縮小　■ 廃止　□ 終期の設定
評価の説明	【事業費等の評価】 事業費は適切である。（理由：当該公益財団法人は、本補助金の受領により収支が均衡した状態を維持できているため。） 【指標数値の評価】 部屋の稼働率は例年８０％程度で推移しており、事業成果は概ね妥当だが改善の余地がある。今後、事業成果の目標を達成するには稼働率を上げる必要があるが、急な滞在にも対応できるよう一定の空室は必要である。 【今後の方向性】 事業費等の評価や指標数値の評価を踏まえると、概ね目標とする効果が出ており事業費も適正である。なお、当ハウスは平成３１年度の国立循環器病研究センター移転に伴い摂津市域に移転する予定であり、本事業は平成３０年度をもって廃止となる。

事務事業分析シート

所属名	地域医療推進室				
事務事業番号	00570	事業名	おおさか・すいたハウス支援事業	事業区分	その他

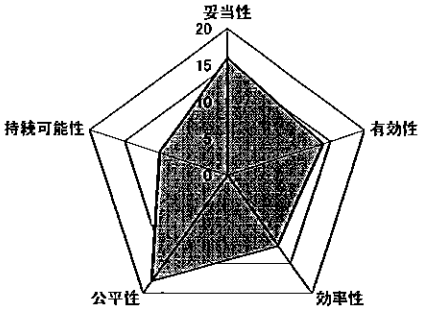
1 各視点からの評価　※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点		評価点	チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
(1)	妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
			b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
			③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2)	有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
			③事業は目標どおりに進捗していますか。		
			b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3)	効率性 (20点)	12	①単位当たりコストは適正ですか。		
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
			a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1	点
(4)	公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
			②サービスの水準は適正ですか。		
			a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
			③適正な受益者負担を求めていますか。		
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5)	持続可能性 (20点)	10	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
			③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			c. 現在の事業のあり方では、期待する事業効果は得られない。(1点)	1	点
評価点合計 (100点満点)		70	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域医療推進室	事務事業番号	00570

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	□ 主要な政策課題としての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	おおさか・すいたハウスは社会貢献度の極めて高い施設であり、利用者の負担を最小限にとどめるため、ボランティアの活用を図るなど事業の運営について努力している。 国立循環器病研究センターの医療技術を必要とする患者やその付き添い家族の滞在を支援することは、ナショナルセンターとして早急な循環器病の克服を目指す同センターの運営を間接的に支援することとなり、結果として本市の地域医療の充実につながっている。 なお、当ハウスは平成31年度の国立循環器病研究センター移転に伴い摂津市域に移転する予定であり、本事業は平成30年度で廃止となる。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

当ハウスの建物は平成29年10月から本市所有となっているが、それまでは公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス所有であり、土地を所有する府は財団に対し、土地貸付に係る負担金として府から市に交付される「市町村交付金」相当額分を請求し、財団は同額を負担してきた。本市は財団に対し同額を補助金として支出することで運営を支援してきた。
平成31年度の市町村交付金の交付対象かどうかは、前年(平成30年)の3月31日を基準に判断され、その時点で既に建物が市所有となっていることから、平成31年度は交付対象にはならず、府は財団に対しても請求を行わないことから、本事業は平成30年度をもって廃止となる。

事務事業評価（確認書）

平成30年 5月28日
10時43分48秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0008010000	地域医療推進室
総合計画	吹田市第３次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

＜基本事項＞

事務事業番号	00571	吹田市医療審議会運営事業							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	06	健康な暮らしを支えるまちづくり							
細節	30	地域医療体制の整備							
予算事業	10482	01	04	01	01	03	01	01	吹田市医療審議会運営事業（保健衛生総務費）
所属長	安宅　千枝								担当者（内線）宮下　昌也（２４６６）
根拠法令等	執行機関の附属機関に関する条例、吹田市医療審議会規則								
事業開始年度	昭和５２年度	直近の改正	平成２８年度						
改正内容	審議会の庶務担当の変更								
市単独事業区分	●　全部　○　一部（上乗せ、横出し等あり）　○　なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

＜事業分析＞

事業区分	●　内部管理　○　建設事業　○　その他		
対象	市民		
目標	市民が安心して医療を受けることができる地域医療体制の整備		
結果	医療サービスの向上		
事業概要	救急その他医療関係諸問題についての重要事項を調査・審議する。		
実施方法	■　直接実施		
	□　委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	
	□　補助金・負担金	交付先①	
		交付先②	
		交付先③	
	□　その他	内容	

＜事業費＞

（千円）

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	183	138	183	155	201
人件費職員数(人)	0.70	0.50	0.50	0.50	0.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	5,719	3,950	4,026	4,026	3,973
総事業費(A+B)	5,902	4,088	4,209	4,181	4,174
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	5,902	4,088	4,209	4,181	4,174
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	5,902	4,088	4,209	4,181	4,174
財源計(C+D)	5,902	4,088	4,209	4,181	4,174

所属	地域医療推進室
事務事業番号	00571

<活動指標>

（1）活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	審議会開催回数	回	目標値	2.00	2.00	2.00
			実績値	2.00	2.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	予算上の開催回数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	2,044.00	2,090.50	
			一般財源(千円)	2,044.00	2,090.50	

（1）活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	審議会延べ出席委員数	人	目標値	26.00	25.00	24.00
			実績値	22.00	24.00	
			達成度(%)	84.60	96.00	
目標値の積算方法	委員数×開催回数 委員数１３人（平成２９年１１月から１２人）	単位当たりコスト	総事業費(千円)	185.82	174.21	
			一般財源(千円)	185.82	174.21	

<成果指標>

（2）成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

（2）成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

（3）指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容	審議会で諮問答申、または医療関係諸問題に対する助言を受けることにより、市民が安心して医療を受けることができる地域医療体制の整備をする。	達成状況	地域医療体制の充実、医療サービスの向上に資するものとなっている。

<総合評価>

今後の方向性（一次評価）	□ 拡充　■ 継続　□ 縮小　□ 廃止　□ 終期の設定
評価の説明	【事業費等の評価】 事業費は適切である。（理由：予算は概ね一定額で推移しており、妥当であると考えられるため。） 今後も継続して適正な事業費となるよう事務の効率化を意識することが必要である。 【今後の方向性】 事業費等の分析を踏まえると、目標とする効果も出ており、事業費も適正であるため、実施方法の検討など事務改善を行いつつ継続することが妥当である。

事務事業分析シート

所属名	地域医療推進室				
事務事業番号	00571	事業名	吹田市医療審議会運営事業	事業区分	内部管理

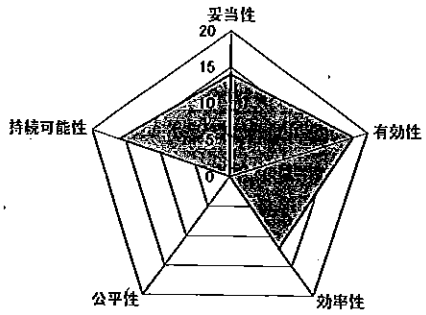
1 各視点からの評価　※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点		評価点	チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
(1)	妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
			b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
			③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			c. 市民ニーズは低下している。又は市民ニーズを把握できていない(1点)	1	点
(2)	有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
			③事業は目標どおりに進捗していますか。		
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3)	効率性 (20点)	12	①単位当たりコストは適正ですか。		
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
			a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1	点
(4)	公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
			内部管理		点
			②サービスの水準は適正ですか。		
			内部管理		点
			③適正な受益者負担を求めていますか。		
			内部管理		点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			内部管理		点
(5)	持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
			③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)		75	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域医療推進室	事務事業番号	00571

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	□ 主要な政策課題としての取組	☑ 部として重点的な取組	□ その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	審議会は7月と12月の年2回開催し、本市の医療施策に関する重要事項を調査・審議することを目的に設置しており、平成29年度の重要事項として本市の救急医療に関する状況や、在宅医療の推進に向けた現在の取組や進捗等を審議会に報告し、御意見をいただいている。 今後も市民が安心して医療を受けることができる地域医療体制の実現に向けて、本審議会は継続する必要がある。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

事務事業評価（確認書）

平成30年 6月 4日
13時36分40秒 作成

評価年度	平成29年度	所属	0008010000	地域医療推進室
総合計画	吹田市第３次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

＜基本事項＞

事務事業番号	00573	地方独立行政法人市立吹田市民病院評価委員会運営事業							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	06	健康な暮らしを支えるまちづくり							
細節	30	地域医療体制の整備							
予算事業	10484	01	04	01	01	03	03	01	地方独立行政法人市立吹田市民病院評価委員会運営事業（保健衛生
所属長	安宅　千枝								担当者（内線）田渡（内線２５１０）
根拠法令等	地方独立行政法人法、地方独立行政法人市立吹田市民病院評価委員会条例								
事業開始年度	平成２５年度	直近の改正	平成３０年度						
改正内容	主に評価委員会の所掌事務が変更された。								
市単独事業区分	○　全部　○　一部（上乗せ、横出し等あり）　●　なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

＜事業分析＞

事業区分	●　内部管理　○　建設事業　○　その他		
対象	地方独立行政法人市立吹田市民病院（以下「市民病院」という。）		
目標	市民病院の中期目標の策定、中期計画の認可及び業務実績評価等に関する評価委員会からの専門的、客観的かつ中立公正な意見を聴取する。		
結果	市民病院の効率的・効果的な業務運営に寄与する。		
事業概要	中期目標の策定、中期計画の認可及び業務実績評価に関する意見等、地方独立行政法人法又は地方独立行政法人市立吹田市民病院評価委員会条例で規定された所掌事務を行う。		
実施方法	■　直接実施		
	□　委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	
	□　補助金・負担金	交付先①	
		交付先②	
		交付先③	
	□　その他	内容	

＜事業費＞

（千円）

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	192	81	447	191	319
人件費職員数(人)	0.70	0.70	0.70	0.70	0.80
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	5,719	5,530	5,637	5,637	6,356
総事業費(A+B)	5,911	5,611	6,084	5,828	6,675
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	5,911	5,611	6,084	5,828	6,675
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	5,911	5,611	6,084	5,828	6,675
財源計(C+D)	5,911	5,611	6,084	5,828	6,675

平成30年 6月 4日
13時36分40秒作成

所属	地域医療推進室
事務事業番号	00573

＜活動指標＞

（1）活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	評価委員会開催回数	回	目標値	3.00	7.00	5.00
			実績値	2.00	4.00	
			達成度(%)	66.70	57.10	
目標値の積算方法	予算上の開催回数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	2,805.50	1,457.00	
			一般財源(千円)	2,805.50	1,457.00	

（1）活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	評価委員会延べ出席委員数	人	目標値	21.00	49.00	35.00
			実績値	11.00	25.00	
			達成度(%)	52.40	51.00	
目標値の積算方法	委員数（７人）×開催回数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	510.09	233.12	
			一般財源(千円)	510.09	233.12	

＜成果指標＞

（2）成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

（2）成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

（3）指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容	市民病院の業務の公共性及び透明性を確保する。	達成状況	市民病院の業務の効率的・効果的な実施を実現することにより地域医療体制を確保する。

＜総合評価＞

今後の方向性（一次評価）	□拡充 ■継続 □縮小 □廃止 □終期の設定
評価の説明	【事業費等の評価】 事業費は適切である。（理由：吹田市報酬及び費用弁償条例に基づく委員報酬を支払っているため。） 【指標数値の評価】 評価委員会の開催回数について、当初予定していた開催回数から変更があったものの、評価委員の出席率は高く妥当な数値である。 【今後の方向性】 市民病院が業務の公共性及び透明性を確保し、効率的・効果的な業務運営の実施を実現するために、評価委員会の専門的及び実践的な知見を踏まえ、客観的かつ中立公正な意見を聴取する等の必要性があるため、事業を継続することが妥当である。

事務事業分析シート

所属名	地域医療推進室				
事務事業番号	00573	事業名	地方独立行政法人市立吹田市民病院評価委員会運営事業	事業区分	内部管理

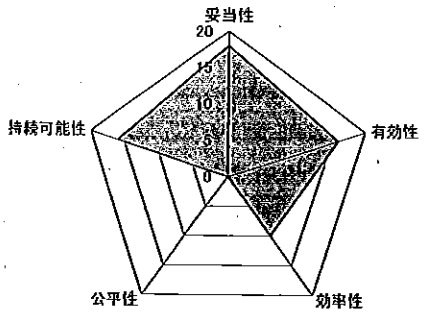
1 各視点からの評価　※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点		評価点	チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1)	妥当性(20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
			a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
			③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2)	有効性(20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
			③事業は目標どおりに進捗していますか。		
			b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3)	効率性(20点)	10	①単位当たりコストは適正ですか。		
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
			b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1	点
(4)	公平性(20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
			内部管理		点
			②サービスの水準は適正ですか。		
			内部管理		点
			③適正な受益者負担を求めていますか。		
			内部管理		点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			内部管理		点
(5)	持続可能性(20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
			③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計(100点満点)		75	← ※自動計算します。(内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域医療推進室	事務事業番号	00573

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	□ 主要な政策課題としての取組	☑ 部として重点的な取組	□ その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	地方独立行政法人の業務運営の仕組みは、設立団体の長が業務の目標を示したうえで、法人にその達成手段について広範囲な裁量権を与え、法人の責任と権限において業務を行わせ、事後的にその達成状況をチェックする「目標による管理」の考え方を根幹として構成されている。 平成30年4月施行の法改正では、主に評価委員会の所掌事務が変更されており、法人の業務実績評価においても評価主体が評価委員会から市長に変更されている。しかし、専門性の高い医療に関する客観的な業務実績評価等を市長だけで行うのは困難であり、評価委員会の専門的及び実践的な知見が必要であることから、本市の「地方独立行政法人市立吹田市民病院評価委員会条例」に中期計画の認可及び業務実績評価に関する意見聴取の所掌事務を追加した。 以上のことから、今後も評価委員会が果たすべき役割は大きいものであると考えている。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

事務事業評価（確認書）

平成30年 5月25日
15時53分55秒 作成

評価年度	平成29年度	所属	0008010000	地域医療推進室
総合計画	吹田市第３次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

＜基本事項＞

事務事業番号	00620	地方独立行政法人市立吹田市民病院運営費負担事業							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	06	健康な暮らしを支えるまちづくり							
細節	30	地域医療体制の整備							
予算事業	11427	01	04	01	01	05	01	01	地方独立行政法人市立吹田市民病院運営費負担事業（保健衛生総務
所属長	安宅　千枝								担当者（内線）田渡（内線２５１０）
根拠法令等	地方独立行政法人法								
事業開始年度	平成２６年度	直近の改正	なし						
改正内容	なし								
市単独事業区分	○　全部　○　一部（上乗せ、横出し等あり）　●　なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

＜事業分析＞

事業区分	○　内部管理　○　建設事業　●　その他		
対象	地方独立行政法人市立吹田市民病院（以下「市民病院」という。）		
目標	市民病院の安定した経営基盤の確立		
結果	市民病院が市立病院の役割を将来に渡り持続的に果たし、市民に対して良質で安心安全な医療を提供する。		
事業概要	市民病院は、本市の市立病院として担うべき救急医療や小児医療等の政策医療を中心に地域に必要な医療を継続して提供する重要な役割がある。そのような市立病院として行わなければならない医療の提供に対して、これに伴う収入をもって充てることができない経費については、同病院に対して総務省の繰出基準に基づき運営費の一部を負担する。		
実施方法	■　直接実施		
	□　委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	
	□　補助金・負担金	交付先①	
		交付先②	
		交付先③	
	□　その他	内容	

＜事業費＞

（千円）

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	808,817	808,817	803,422	827,664	1,072,217
人件費職員数(人)	0.40	0.50	0.35	0.35	0.70
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	3,268	3,950	2,819	2,819	5,562
総事業費(A+B)	812,085	812,767	806,241	830,483	1,077,779
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	812,085	812,767	806,241	830,483	1,077,779
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	812,085	812,767	806,241	830,483	1,077,779
財源計(C+D)	812,085	812,767	806,241	830,483	1,077,779

所属	地域医療推進室
事務事業番号	00620

<活動指標>

（1）活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	市民病院における救急搬送受入件数	件	目標値	4,304.00	4,304.00	4,010.00
			実績値	3,908.00	3,654.00	
			達成度(%)	90.80	84.90	
目標値の積算方法	市民病院の中期計画及び年度計画における目標指標	単位当たりコスト	総事業費(千円)	207.98	227.28	
			一般財源(千円)	207.98	227.28	

（1）活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

（2）成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

（2）成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

（3）指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容	市民病院に求められる医療を将来に渡って持続的に提供する。	達成状況	安定した経営基盤のもと、市民に対して良質で安心安全な医療の提供。

<総合評価>

今後の方向性（一次評価）	□ 拡充 ■ 継続 □ 縮小 □ 廃止 □ 終期の設定
評価の説明	【事業費等の評価】 事業費は適切である。（理由：事業費が増額している主な理由は、新病院建設に係る地方債の償還が増額していくことからであり、市民病院が安定した経営基盤の下、市立病院の役割を果たしていくため。） 【指標数値の評価】 救急搬送受入件数の目標値を到達しておらず、市民病院における救急受入体制の確保等については改善の余地があるが、事業成果は概ね妥当である。 【今後の方向性】 市民が良質で安心安全な医療を受療することができる地域医療体制の整備を図るために、政策医療や不採算医療等に係る運営費の一部を本市で負担することは今後も必要であることから、事業を継続することが妥当である。

事務事業分析シート

所属名	地域医療推進室				
事務事業番号	00620	事業名	地方独立行政法人市立吹田市民病院運営費負担事業	事業区分	その他

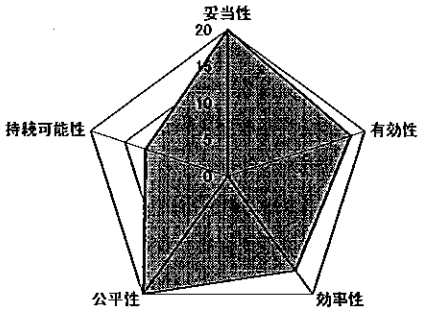
1 各視点からの評価　※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点		評価点	チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
(1)	妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
			a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
			③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2)	有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
			③事業は目標どおりに進捗していますか。		
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3)	効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。		
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
			a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4)	公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
			a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
			②サービスの水準は適正ですか。		
			a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
			③適正な受益者負担を求めていますか。		
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5)	持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
			c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
			③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)		86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域医療推進室	事務事業番号	00620

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	□ 主要な政策課題としての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	地方独立行政法人法の規定により、①性質上、経営に伴う収入をもって充てることができない経費及び②性質上、能率的な経営をもってもなおその経営に伴う収入のみをもって充てることが客観的に困難であると認められる経費は設立団体で負担すべきことと規定されていることから、市民病院に対して政策医療や不採算医療等に係る運営費の一部を負担するものである。 本市が運営費の一部を負担することにより、政策医療をはじめとした同病院に求められる医療を安定的に継続して提供することができるものである。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

事務事業評価（確認書）

平成30年 5月30日
10時55分36秒 作成

評価年度	平成29年度	所属	0008010000	地域医療推進室
総合計画	吹田市第３次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

＜基本事項＞

事務事業番号	00621	地方独立行政法人市立吹田市民病院貸付事業（病院事業債管理特別							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	06	健康な暮らしを支えるまちづくり							
細節	30	地域医療体制の整備							
予算事業	11428	15	01	01	01	01	01	01	地方独立行政法人市立吹田市民病院貸付事業（病院事業貸付金）
所属長	安宅　千枝								担当者（内線）田渡（内線２５１０）
根拠法令等	地方独立行政法人法								
事業開始年度	平成２６年度	直近の改正	なし						
改正内容	なし								
市単独事業区分	○ 全部　○ 一部（上乗せ、横出し等あり）　● なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

＜事業分析＞

事業区分	○ 内部管理　○ 建設事業　● その他		
対象	地方独立行政法人市立吹田市民病院（以下「市民病院」という。）		
目標	市民病院に対して、新病院建設及び医療機器更新等の費用の貸付を行う。		
結果	安定した経営基盤の確立		
事業概要	市民病院は地方独立行政法人法の規定により、設立団体である本市からしか長期借入れを行うことができないため、本市から同病院に新病院建設及び医療機器更新等、病院運営に必要な費用の貸付を行う。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	
	□ 補助金・負担金	交付先①	
		交付先②	
		交付先③	
	□ その他	内容	

＜事業費＞

（千円）

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	621,800	582,400	3,766,900	3,350,700	13,643,400
人件費職員数(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費単価	0	0	0	0	0
人件費総額(B)	0	0	0	0	0
総事業費(A+B)	621,800	582,400	3,766,900	3,350,700	13,643,400
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	621,800	582,400	3,766,900	3,350,700	13,643,400
地方債	621,800	582,400	3,766,900	3,350,700	13,643,400
その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	621,800	582,400	3,766,900	3,350,700	13,643,400

所属	地域医療推進室
事務事業番号	00621

<活動指標>

（1）活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

（1）活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

（2）成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

（2）成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

（3）指標で示すのが困難な場合

活動内容	市民病院に貸付を行うために、起債し、資金の借り入れを行う。	目標	市民病院に貸付を行うための資金を確保する。
成果内容	市民病院に対して適切な貸付を行う。	達成状況	市民病院による新病院建設事業の実施。

<総合評価>

今後の方向性（一次評価）	□ 拡充 ■ 継続 □ 縮小 □ 廃止 □ 終期の設定
評価の説明	【事業費等の評価】 事業費は適切である。（理由：事業費総額は増額しているが、これは新病院建設に係る費用によるものであるが、当該建設計画当初より想定されていた事業費の範囲内であるため。） 【今後の方向性】 地方独立行政法人法の規定により、法人は設立団体の長からのみ長期借入が可能なものとなっている。 市民病院は、新病院建設や医療機器更新等に係る多額の費用を長期借入により財源確保をしていることから、本市が起債により同病院に対して貸付を行っている。 同病院が安定した経営基盤の下、市民が必要とする良質で安心安全な医療を持続して提供していくためには、事業を継続することが妥当である。

事務事業分析シート

所属名	地域医療推進室				
事務事業番号	00621	事業名	地方独立行政法人市立吹田市民貸付事業(病院事業債管理特別会計)	事業区分	その他

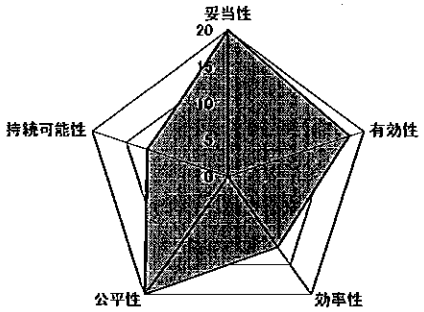
1 各視点からの評価　※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点		評価点	チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
(1)	妥当性(20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
			a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
			③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2)	有効性(20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
			③事業は目標どおりに進捗していますか。		
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3)	効率性(20点)	12	①単位当たりコストは適正ですか。		
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
			b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4)	公平性(20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
			a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
			②サービスの水準は適正ですか。		
			a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
			③適正な受益者負担を求めていますか。		
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5)	持続可能性(20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
			b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
			③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計(100点満点)		82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域医療推進室	事務事業番号	00621

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	□ 主要な政策課題としての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	市民病院は、地方独立行政法人法の規定により、設立団体である本市からしか長期借入れを行うことができないため、本市から同病院へ新市民病院建設や医療機器更新等に係る費用の貸付を行うものである。それにより、同病院の安定的な経営を図る効果がある。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

事務事業評価（確認書）

平成30年 5月25日
15時57分05秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0008010000	地域医療推進室
総合計画	吹田市第３次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

＜基本事項＞

事務事業番号	00622	元金償還事業（病院事業債管理特別会計）							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	06	健康な暮らしを支えるまちづくり							
細節	30	地域医療体制の整備							
予算事業	11429	15	02	01	01	01	01	01	元金償還事業（元金）
所属長	安宅　千枝								担当者（内線）田渡（内線２５１０）
根拠法令等	地方独立行政法人法								
事業開始年度	平成２６年度	直近の改正	なし						
改正内容	なし								
市単独事業区分	○　全部　○　一部（上乗せ、横出し等あり）　●　なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

＜事業分析＞

事業区分	●　内部管理　○　建設事業　○　その他		
対象	病院事業債		
目標	長期債元金の適切な償還		
結果	地方独立行政法人市立吹田市民病院貸付事業等の適切な財政運営を行う。		
事業概要	地方独立行政法人市立吹田市民病院（以下「市民病院」という。）が地方独立行政法人に移行した際に市が承継した企業債及び市民病院貸付事業に係る長期債借入により発生する元金償還について、同病院からの元金償還金を充てて償還する。		
実施方法	■　直接実施		
	□　委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	
	□　補助金・負担金	交付先①	
		交付先②	
		交付先③	
	□　その他	内容	

＜事業費＞

（千円）

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	223,098	223,098	120,383	120,383	110,625
人件費職員数(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費単価	0	0	0	0	0
人件費総額(B)	0	0	0	0	0
総事業費(A+B)	223,098	223,098	120,383	120,383	110,625
特定財源(C)	223,098	223,098	120,383	120,383	110,625
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	223,098	223,098	120,383	120,383	110,625
市負担(D)	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	223,098	223,098	120,383	120,383	110,625

所属	地域医療推進室
事務事業番号	00622

<活動指標>

（1）活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容		千円	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

（1）活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

（2）成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

（2）成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

（3）指標で示すのが困難な場合

活動内容	市民病院からの元金償還金を受けて償還を行う。	目標	長期債元金の適正な償還。
成果内容	市民病院貸付事業等の適正な財政運営を図る。	達成状況	適正な元金の償還及び財政運営の確保。

<総合評価>

今後の方向性（一次評価）	□ 拡充 ■ 継続 □ 縮小 □ 廃止 □ 終期の設定
評価の説明	【事業費等の評価】 事業費は適切である。（理由：地方債で財源を確保し、市民病院に貸付を行っているが、地方債の償還額と同額を同病院が市に支払いを行っているため。） 【今後の方向性】 長期債元金の適正な償還を行うためには、事業を継続することが妥当である。

事務事業分析シート

所属名	地域医療推進室				
事務事業番号	00622	事業名	元金償還事業(病院事業債管理特別会計)	事業区分	内部管理

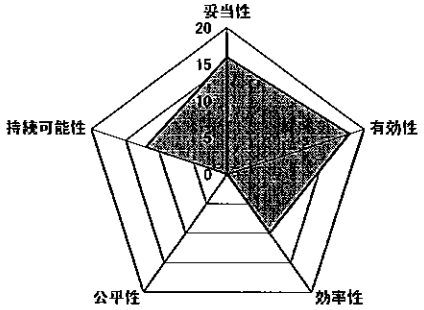
1 各視点からの評価　※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点		評価点	チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
(1)	妥当性(20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
			a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
			③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			c. 市民ニーズは低下している。又は市民ニーズを把握できていない(1点)	1	点
(2)	有効性(20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
			③事業は目標どおりに進捗していますか。		
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3)	効率性(20点)	10	①単位当たりコストは適正ですか。		
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
			b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1	点
(4)	公平性(20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
			内部管理		点
			②サービスの水準は適正ですか。		
			内部管理		点
			③適正な受益者負担を求めていますか。		
			内部管理		点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			内部管理		点
(5)	持続可能性(20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
			b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
			③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計(100点満点)		70	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域医療推進室	事務事業番号	00622

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	□ 主要な政策課題としての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	市民病院が地方独立行政法人に移行した際に市が承継した企業債及び地方独立行政法人市立吹田市民病院貸付事業に係る長期債借入により発生する元金償還について、同病院からの元金償還金を充てて、適切な償還を行っている。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

事務事業評価（確認書）

平成30年 5月25日
15時57分55秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0008010000	地域医療推進室
総合計画	吹田市第３次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

＜基本事項＞

事務事業番号	00623	長期債利子償還事業（病院事業債管理特別会計）							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	06	健康な暮らしを支えるまちづくり							
細節	30	地域医療体制の整備							
予算事業	11430	15	02	01	02	01	01	01	長期債利子償還事業（利子）
所属長	安宅　千枝							担当者（内線）	田渡（内線２５１０）
根拠法令等	地方独立行政法人法								
事業開始年度	平成２６年度	直近の改正	なし						
改正内容	なし								
市単独事業区分	○ 全部　○ 一部（上乗せ、横出し等あり）　● なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

＜事業分析＞

事業区分	● 内部管理　○ 建設事業　○ その他		
対象	病院事業債		
目標	長期債利子の適切な償還		
結果	地方独立行政法人市立吹田市民病院貸付事業等の適切な財政運営を行う。		
事業概要	地方独立行政法人市立吹田市民病院（以下「市民病院」という。）が地方独立行政法人に移行した際に市が承継した企業債及び市民病院貸付事業に係る長期債借入により発生する利子償還について、同病院からの利子償還金を充てて償還する。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	
	□ 補助金・負担金	交付先①	
		交付先②	
		交付先③	
	□ その他	内容	

＜事業費＞

（千円）

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	67,397	66,734	74,525	66,557	205,136
人件費職員数(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費単価	0	0	0	0	0
人件費総額(B)	0	0	0	0	0
総事業費(A+B)	67,397	66,734	74,525	66,557	205,136
特定財源(C)	67,397	66,734	74,525	66,557	205,136
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	67,397	66,734	74,525	66,557	205,136
市負担(D)	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	67,397	66,734	74,525	66,557	205,136

所属	地域医療推進室
事務事業番号	00623

＜活動指標＞

（1）活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容		千円	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

（1）活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

＜成果指標＞

（2）成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

（2）成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

（3）指標で示すのが困難な場合

活動内容	市民病院からの利子返済を受けて償還を行う。	目標	長期債利子の適正な償還。
成果内容	市民病院貸付事業等の適正な財政運営を図る。	達成状況	適正な利子の償還及び財政運営の確保。

＜総合評価＞

今後の方向性（一次評価）	□ 拡充 ■ 継続 □ 縮小 □ 廃止 □ 終期の設定
評価の説明	【事業費等の評価】 事業費は適切である。（理由：地方債で財源を確保し、市民病院に貸付を行っているが、地方債の償還額と同額を同病院が市に支払いを行っているため。） 【今後の方向性】 長期債利子の適正な償還を行うためには、事業を継続することが妥当である。

事務事業分析シート

所属名	地域医療推進室				
事務事業番号	00623	事業名	長期債利子償還事業(病院事業債管理特別会計)	事業区分	内部管理

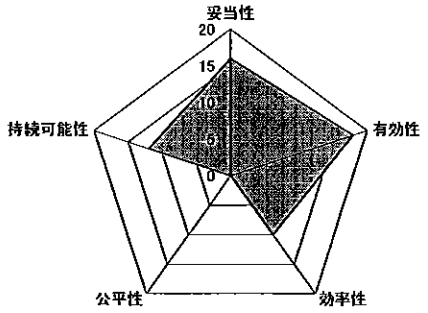
1 各視点からの評価　※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点		評価点	チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
(1)	妥当性(20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
			a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
			③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			c. 市民ニーズは低下している。又は市民ニーズを把握できていない(1点)	1	点
(2)	有効性(20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
			③事業は目標どおりに進捗していますか。		
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3)	効率性(20点)	10	①単位当たりコストは適正ですか。		
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
			b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1	点
(4)	公平性(20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
			内部管理		点
			②サービスの水準は適正ですか。		
			内部管理		点
			③適正な受益者負担を求めていますか。		
			内部管理		点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			内部管理		点
(5)	持続可能性(20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
			b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
			③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計(100点満点)		70	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域医療推進室	事務事業番号	00623

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	□ 主要な政策課題としての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	市民病院が地方独立行政法人に移行した際に市が承継した企業債及び地方独立行政法人市立吹田市民病院貸付事業に係る長期債借入により発生する利子償還について、同病院からの利子償還金を充てて、適切な償還を行っている。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

事務事業評価（確認書）

平成30年 6月 1日
13時19分04秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0008010000	地域医療推進室
総合計画	吹田市第３次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

＜基本事項＞

事務事業番号	01653	地域医療推進事業							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	06	健康な暮らしを支えるまちづくり							
細節	30	地域医療体制の整備							
予算事業	11767	01	04	01	01	09	01	01	地域医療推進事業（保健衛生総務費）
所属長	安宅　千枝								担当者（内線）宮下　昌也（２４６６）
根拠法令等	なし								
事業開始年度	平成２６年度	直近の改正	なし						
改正内容	なし								
市単独事業区分	●　全部　○　一部（上乗せ、横出し等あり）　○　なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

＜事業分析＞

事業区分	●　内部管理　○　建設事業　○　その他		
対象	市民、医療関係者、企業関係者など		
目標	北大阪健康医療都市を中心とした健康・医療のまちづくりの推進 在宅医療推進の環境づくりとかかりつけ医等の定着促進		
結果	市民の健康寿命の延伸 将来の在宅医療の医療需要に見合った医療供給体制の整備		
事業概要	北大阪健康医療都市を中心とした健康・医療のまちづくりを推進するために「北大阪健康医療都市を中心とした健康・医療のまちづくり会議」を開催し、関係機関相互の連携等についての検討や、健康・医療のまちづくりの取組みについての情報共有及びポータルサイトで情報発信を行う。また、地域医療推進懇談会及び作業部会を開催し、在宅医療推進の環境づくりやかかりつけ医等の定着促進等に向けた検討を進める。		
実施方法	□　直接実施		
	■　委託又は一部委託	委託先①	シーレイシステム株式会社
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	ポータルサイトの保守等
	□　補助金・負担金	交付先①	
		交付先②	
		交付先③	
	□　その他	内容	

＜事業費＞

（千円）

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	5,327	3,457	2,748	2,413	2,413
人件費職員数(人)	3.00	2.50	2.50	2.50	2.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	24,510	19,750	20,130	20,130	19,863
総事業費(A+B)	29,837	23,207	22,878	22,543	22,276
特定財源(C)	457	456	457	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	457	456	457	0	0
市負担(D)	29,380	22,751	22,421	22,543	22,276
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	29,380	22,751	22,421	22,543	22,276
財源計(C+D)	29,837	23,207	22,878	22,543	22,276

所属	地域医療推進室
事務事業番号	01653

＜活動指標＞

（1）活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	北大阪健康医療都市を中心とした健康・医療のまちづくり会議等の開催回数	回	目標値	4.00	4.00	3.00
			実績値	3.00	3.00	
			達成度(%)	75.00	75.00	
目標値の積算方法	予算上の開催回数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	7,735.67	7,514.33	
			一般財源(千円)	7,583.67	7,514.33	

（1）活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	地域医療推進懇談会の開催回数（作業部会の回数含む）	回	目標値	4.00	6.00	6.00
			実績値	4.00	5.00	
			達成度(%)	100.00	83.30	
目標値の積算方法	予算上の開催回数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	5,801.75	4,508.60	
			一般財源(千円)	5,687.75	4,508.60	

＜成果指標＞

（2）成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

（2）成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

（3）指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容	北大阪健康医療都市を中心とした健康・医療のまちづくりの推進のため、関係機関相互の連携等についての検討や情報発信。 在宅医療推進の環境づくり等について医療関係者等で議論。	達成状況	まちづくり会議を３回開催し、議論の内容をポータルサイトで発信。在宅医療推進の環境づくり等に向けた議論を深めた。

＜総合評価＞

今後の方向性（一次評価）	■ 拡充　□ 継続　□ 縮小　□ 廃止　□ 終期の設定
評価の説明	【事業費等の評価】 事業費等は増額を検討する必要がある。（理由：吹田市地域医療推進懇談会で出された課題に対する取組を進めていく必要があるため。） 【今後の方向性】 本市と同様の事業を行っている市町村が近隣にはないため、事業費等の比較・分析はできていないが、引き続き効率的な運営となるように意識する必要がある。今後も健康・医療のまちづくりを一体的に進めていくために必要な情報共有や、連携方法等の検討を行うとともに、在宅医療推進のための環境づくり等に向けて、医療関係者や関係行政機関から聴取した意見に基づき、さまざまな取組を進めていく必要がある。

事務事業分析シート

所属名	地域医療推進室				
事務事業番号	01653	事業名	地域医療推進事業	事業区分	内部管理

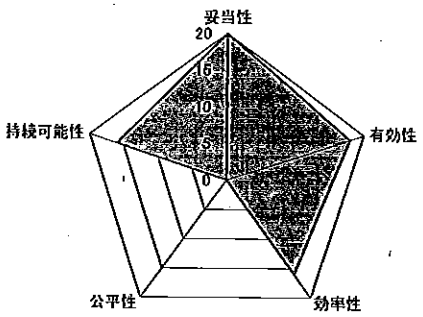
1 各視点からの評価　※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点		評価点	チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
(1)	妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
			a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
			③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2)	有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
			③事業は目標どおりに進捗していますか。		
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3)	効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。		
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
			a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4)	公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
			内部管理		点
			②サービスの水準は適正ですか。		
			内部管理		点
			③適正な受益者負担を求めていますか。		
			内部管理		点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			内部管理		点
(5)	持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
			③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)		87	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域医療推進室	事務事業番号	01653

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	☑ 主要な政策課題としての取組	☑ 部として重点的な取組	☐ その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	北大阪健康医療都市を中心とした健康・医療のまちづくりを推進するために、「北大阪健康医療都市を中心とした健康・医療のまちづくり会議」を開催し、関係機関の情報共有や、連携等について検討する役割を果たしている。 在宅医療の推進に向けて特に検討が必要な事項を検討するために、平成29年度より地域医療推進懇談会に作業部会を設置した。今年度は急変時の入院受入体制等について具体的な対策について検討を行い、入院患者が状態に応じた適切な医療機能をもつ病院に円滑に移れることを目的とした病病連携の仕組みづくりに向け、市内病院に対するニーズ把握調査を実施した。 本懇談会及び作業部会については、在宅医療の推進等に向けて重要な役割を果たしており、また、本懇談会等で聴取した意見をもとに、さまざまな取組を進めていくことが必要である。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

事務事業評価（確認書）

平成30年 6月 4日
15時47分07秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0008010000	地域医療推進室
総合計画	吹田市第３次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

＜基本事項＞

事務事業番号	01782	健都ウェルネス住宅推進事業							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	06	健康な暮らしを支えるまちづくり							
細節	30	地域医療体制の整備							
予算事業	11880	01	04	01	01	10	01	01	健都ウェルネス住宅推進事業（保健衛生総務費）
所属長	安宅　千枝								担当者（内線）村澤　亮平（２４９９）
根拠法令等	なし								
事業開始年度	平成２７年度	直近の改正	なし						
改正内容	なし								
市単独事業区分	●　全部　○　一部（上乗せ、横出し等あり）　○　なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

＜事業分析＞

事業区分	○　内部管理　○　建設事業　●　その他		
対象	健都２街区高齢者向けウェルネス住宅		
目標	健都２街区高齢者向けウェルネス住宅の整備・運営		
結果	同住宅の整備・運営を通じ、地域の医療・介護・福祉の向上を図る。		
事業概要	健都２街区高齢者向けウェルネス住宅は、「居住するすべての人が、できる限り健康の保持増進に努め、生きがいを持ち、自分らしく、安心安全で豊かな人生を送ることができる」という基本的な考え方をプラットフォームに据え、 ①生活習慣病予防や介護予防を特に意識したウェルネス機能 ②地域包括ケアシステム機能 ③健都内外の関係機関等との連携による付加価値機能 という３つの特徴を持つ住宅環境のモデルケースとして、その整備を目指す。		
実施方法	■　直接実施		
	■　委託又は一部委託	委託先①	（株）井畑造園土木吹田支店
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	用地内の除草業務
	□　補助金・負担金	交付先①	
		交付先②	
		交付先③	
	□　その他	内容	

＜事業費＞

（千円）

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	67	49	488	486	3,044
人件費職員数(人)	0.20	0.20	1.00	1.00	1.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	1,634	1,580	8,052	8,052	7,945
総事業費(A+B)	1,701	1,629	8,540	8,538	10,989
特定財源(C)	0	0	0	0	2,983
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	2,983
市負担(D)	1,701	1,629	8,540	8,538	8,006
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,701	1,629	8,540	8,538	8,006
財源計(C+D)	1,701	1,629	8,540	8,538	10,989

所属	地域医療推進室
事務事業番号	01782

<活動指標>

（1）活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

（1）活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

（2）成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

（2）成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

（3）指標で示すのが困難な場合

活動内容	民間事業者と一般定期借地権設定契約を締結し、住宅用地の貸付を行う。	目標	高齢者向けウェルネス住宅の整備・運営
成果内容	事業者による整備・運営を市がモニタリングすることにより、事業活動の継続性・安定性の確保を図る。	達成状況	地域包括ケアシステムの推進等、地域の医療・介護・福祉の質向上により、住民がその価値を最大限享受できる環境が整備される。

<総合評価>

今後の方向性（一次評価）	□ 拡充 ■ 継続 □ 縮小 □ 廃止 □ 終期の設定
評価の説明	【事業費等の評価】 事業費は適切である。（理由：当該住宅の整備・運営は事業者が実施するものであり、市としては連携や調整に係る費用を中心に計上しているため。） 【指標数値の評価】 事業成果は概ね妥当だが改善の余地がある。今後、事業成果の目標を達成するためには、活動手段や方法を改善する必要がある。具体的には、事業者との定例会議を開催し、事業の進捗把握に努めるとともに、より付加価値の高い住宅となるよう具体性のあるソフト事業の実現に向けた市の意見提案も必要である。 【今後の方向性】 住宅の建設着工前であり、目標とする効果が出ていないが事業費は妥当であるため、事業の進捗把握に関して実施方法の検討などの事務改善を行いつつ継続することが妥当である。

事務事業分析シート

所属名	地域医療推進室				
事務事業番号	01782	事業名	健都ウェルネス住宅推進事業	事業区分	その他

1 各視点からの評価　※内部管理事務は「公平性」の評価不要

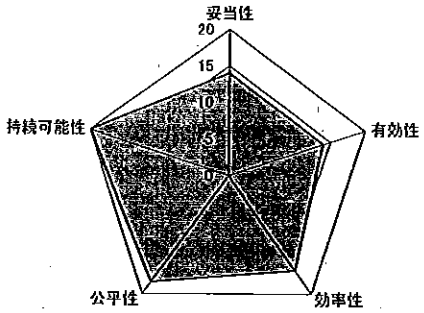
評価の視点		評価点	チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
(1)	妥当性(20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
			b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
			③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2)	有効性(20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
			③事業は目標どおりに進捗していますか。		
			b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3)	効率性(20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。		
			b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
			a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4)	公平性(20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
			②サービスの水準は適正ですか。		
			a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
			③適正な受益者負担を求めていますか。		
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5)	持続可能性(20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
			③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計(100点満点)		82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域医療推進室	事務事業番号	01782

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

本事業は今後事業者による整備・運営を通じ、地域包括ケアシステムの推進等、地域の医療・介護・福祉の向上につながる具体的な成果が表れるものと考える。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	☑ 主要な政策課題としての取組	□ 部として重点的な取組	□ その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	生活習慣病予防や介護予防機能に重点を置いた「高齢者向けウェルネス住宅」の整備・運営は、政策課題(mission24)における「福祉と医療」に関連する事業であり、主要な政策課題に位置付けられるものである。 また、吹田市まち・ひと・しごと創生総合戦略における基本目標「誰もが安心して暮らせる「幸齢社会」が実現するまち」を達成するための施策「生涯活躍のまち」(健都版CCRC)の取組としても位置付けられているものである。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

【平成29年度から所管及び予算費目を変更】
平成28年度
高齢福祉室所管、予算費目(款)民生費(項)社会福祉費(目)社会福祉総務費
平成29年度
地域医療推進室所管、予算費目(款)衛生費(項)保健衛生費(目)保健衛生総務費

事務事業評価（確認書）

平成30年 5月31日
10時10分56秒 作成

評価年度	平成29年度	所属	0008010000	地域医療推進室
総合計画	吹田市第３次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01785	豊能二次医療圏救急医療対策事業							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	06	健康な暮らしを支えるまちづくり							
細節	30	地域医療体制の整備							
予算事業	11764	01	04	01	01	07	01	01	豊能二次医療圏救急医療対策事業（保健衛生総務費）
所属長	安宅　千枝								担当者（内線）田渡（内線２５１０）
根拠法令等	豊能地域救急医療対策事業実施に関する覚書、豊能地域救急医療対策事業補助実施要項（豊中市）								
事業開始年度	平成１２年度	直近の改正	平成１７年度						
改正内容	病院群輪番制病院運営事業補助金に対する府補助金が廃止された。								
市単独事業区分	●　全部　○　一部（上乗せ、横出し等あり）　○　なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○　内部管理　○　建設事業　●　その他		
対象	豊能地域救急医療圏に属する二次医療救急機関		
目標	二次救急病院の健全な運営		
結果	地域における救急医療体制の確保		
事業概要	豊能地域救急医療圏に属する吹田市、豊中市、池田市、箕面市、豊能町、能勢町の４市２町が共同で救急医療対策事業を実施し、二次救急病院の運営に対して補助を行う。その負担金を４市２町が分担している。		
実施方法	□　直接実施		
	□　委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	
	■　補助金・負担金	交付先①	豊中市（４市２町取りまとめ）
		交付先②	
		交付先③	
	□　その他	内容	

<事業費>

（千円）

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	14,578	14,574	14,659	14,657	14,677
人件費職員数(人)	0.10	0.15	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	817	1,185	806	806	795
総事業費(A+B)	15,395	15,759	15,465	15,463	15,472
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	15,395	15,759	15,465	15,463	15,472
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	15,395	15,759	15,465	15,463	15,472
財源計(C+D)	15,395	15,759	15,465	15,463	15,472

所属	地域医療推進室
事務事業番号	01785

<活動指標>

（1）活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

（1）活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

（2）成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

（2）成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

（3）指標で示すのが困難な場合

活動内容	休日、夜間等において、初期救急医療機関では対応できない入院治療を必要とする救急患者の受入	目標	左記患者の円滑な受入
成果内容	救急傷病者に対する医療の確保	達成状況	救急傷病者に対する医療の確保

<総合評価>

今後の方向性（一次評価）	□ 拡充 ■ 継続 □ 縮小 □ 廃止 □ 終期の設定
評価の説明	【事業費等の評価】 事業費は適切である。（理由：休日、夜間等において、初期救急医療機関では対応できない入院治療を必要とする救急患者を受け入れるために必要な経費であるため。） 【今後の方向性】 平日の夜間、日曜、祝日、年末年始に入院を必要とする重症救急患者の受入体制を整備することは、市民の安心安全なくらしに直結することから、事業を継続することが妥当である。

事務事業分析シート

所属名	地域医療推進室				
事務事業番号	01785	事業名	豊能二次医療圏救急医療対策事業	事業区分	その他

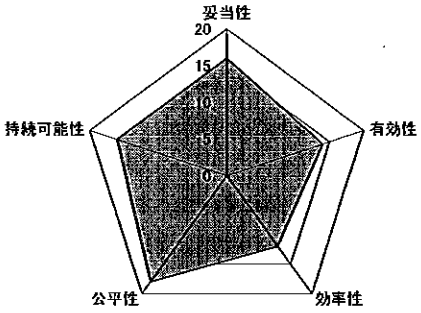
1 各視点からの評価　※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点		評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1)	妥当性(20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
			a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
			③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			c. 市民ニーズは低下している。又は市民ニーズを把握できていない(1点)	1	点
(2)	有効性(20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
			③事業は目標どおりに進捗していますか。		
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			c. 具体的な成果があまりない状況である。(1点)	1	点
(3)	効率性(20点)	12	①単位当たりコストは適正ですか。		
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
			c. 迅速なサービス提供はあまり考えていない。(1点)	1	点
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1	点
(4)	公平性(20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
			②サービスの水準は適正ですか。		
			a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
			③適正な受益者負担を求めていますか。		
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5)	持続可能性(20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
			③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計(100点満点)		76	← ※自動計算します。(内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域医療推進室	事務事業番号	01785

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	□ 主要な政策課題としての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	初期救急医療機関や救急患者の搬送機関等との円滑な連携体制のもとに、休日、夜間等における入院を必要とする重症救急患者を、豊能医療圏内の二次救急病院が共同連帯(輪番制方式)して受け入れる体制の整備を支援するすることにより、救急医療体制が維持されている。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

事務事業評価（確認書）

平成30年 5月25日
15時59分35秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0008010000	地域医療推進室
総合計画	吹田市第３次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

＜基本事項＞

事務事業番号	01786	豊能広域こども急病センター事業							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	06	健康な暮らしを支えるまちづくり							
細節	30	地域医療体制の整備							
予算事業	11765	01	04	01	01	08	01	01	豊能広域こども急病センター事業（保健衛生総務費）
所属長	安宅　千枝								担当者（内線） 田渡（内線２５１０）
根拠法令等	豊能広域こども急病センター管理運営費負担金協定書								
事業開始年度	平成１６年度	直近の改正	なし						
改正内容	なし								
市単独事業区分	●　全部　○　一部（上乗せ、横出し等あり）　○　なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

＜事業分析＞

事業区分	○　内部管理　○　建設事業　●　その他		
対象	豊能広域こども急病センター		
目標	広域医療圏における一次救急と二次救急の機能分担を図ることにより小児科医の不足を補い、より充実した救急医療体制を確保する。		
結果	機能分担により二次救急医療機関においては本来の二次救急に専念し、高度な医療サービスの提供が可能となる。また、結果として小児科医師に対する過度な負担の軽減にもつながる。		
事業概要	豊能地域救急医療圏に属する吹田市、豊中市、池田市、箕面市、豊能町、能勢町の４市２町が共同で設立した「豊能広域こども急病センター」の運営費赤字分に対する負担金。同センターは平日の夜間、土曜午後以降、日曜、祝日、年末年始の一般的に診療所が診療を行っていない時間帯について診療を行い、市民病院等の二次救急医療機関の負担を軽減し、機能分担により小児救急の医療提供体制の充実を図っている。		
実施方法	□　直接実施		
	□　委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	
	■　補助金・負担金	交付先①	一般財団法人箕面市医療保健センター
		交付先②	
		交付先③	
	□　その他	内容	

＜事業費＞

（千円）

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	21,908	21,293	22,785	13,268	22,767
人件費職員数(人)	0.10	0.15	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	817	1,185	806	806	795
総事業費(A+B)	22,725	22,478	23,591	14,074	23,562
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	22,725	22,478	23,591	14,074	23,562
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	22,725	22,478	23,591	14,074	23,562
財源計(C+D)	22,725	22,478	23,591	14,074	23,562

所属	地域医療推進室
事務事業番号	01786

<活動指標>

（1）活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

（1）活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

（2）成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

（2）成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

（3）指標で示すのが困難な場合

活動内容	夜間・休日等、一般的に診療所が診療を行っていない時間帯における小児救急患者の受入	目標	左記患者の円滑な受入
成果内容	二次救急医療機関の負担を軽減し、機能分担による高度で充実した小児救急医療体制の確保	達成状況	二次救急医療機関の負担軽減、小児救急医療体制の確立

<総合評価>

今後の方向性（一次評価）	□ 拡充 ■ 継続 □ 縮小 □ 廃止 □ 終期の設定
評価の説明	【事業費等の評価】 事業費は適切である。（理由：夜間・休日等、一般的に診療所が診療を行っていない時間帯における小児救急患者の受け入れるために必要な費用であるため。） 【今後の方向性】 平日の夜間、土曜午後以降、日曜、祝日、年末年始の一般的に診療所が診療を行っていない時間帯について診療を行うことにより、広域医療圏における一次救急と二次救急の機能分担を図り、小児科医の不足を補うとともに、小児科医への負担軽減につながっていることから、事業を継続することが妥当である。

事務事業分析シート

所属名	地域医療推進室				
事務事業番号	01786	事業名	豊能広域こども急病センター事業	事業区分	内部管理

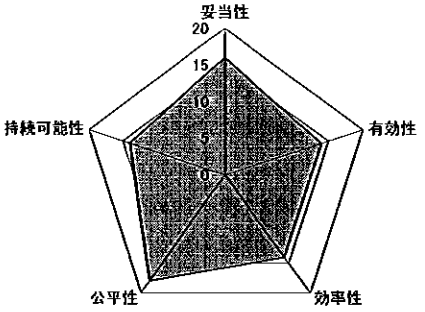
1 各視点からの評価　※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点		評価点	チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
(1)	妥当性(20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
			a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
			③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			c. 市民ニーズは低下している。又は市民ニーズを把握できていない(1点)	1	点
(2)	有効性(20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
			③事業は目標どおりに進捗していますか。		
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			c. 具体的な成果があまりない状況である。(1点)	1	点
(3)	効率性(20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。		
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
			c. 迅速なサービス提供はあまり考えていない。(1点)	1	点
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4)	公平性(20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
			②サービスの水準は適正ですか。		
			a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
			③適正な受益者負担を求めていますか。		
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5)	持続可能性(20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
			③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計(100点満点)		76	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	地域医療推進室	事務事業番号	01786

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	□ 主要な政策課題としての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	小児救急医療を維持するため、同センターに時間外の小児救急診療を集約し、トリアージ機能を持たせることによって、市民病院等の二次救急医療機関における小児科は、夜間・休日も入院患者の診療に集中することができるようになり、より良い環境で適切な医療の提供ができるようになっている。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)